

令和3年

厚生委員会会議録

とき 令和3年11月8日

品川区議会

令和3年 品川区議会厚生委員会

日 時 令和3年11月8日(月) 午後1時00分～午後1時52分
場 所 品川区議会 議会棟6階 第2委員会室

出席委員	委員長 鈴木 博 君	副委員長 鈴木 ひろ子 君
	委員 石田 秀男 君	委員 若林 ひろき 君
	委員 せお 麻里 君	委員 石田 ちひろ 君
	委員 木村 けんご 君	委員 高橋 しんじ 君

出席説明員	伊崎 福祉 部長	松山 障害者福祉 課長
	福内 健康推進 部長 (品川区保健所長兼務)	高山 参 事 (健康推進部健康課長事務取扱)
	秋山 保健整備 担当部長	鈴木 参 事 (品川区保健所生活衛生課長事務取扱)
	鷹 箸 参 事 (品川区保健所保健予防課長事務取扱)	豊嶋 新型コロナウイルス予防接種担当 課長

○午後1時00分開会

○鈴木（博）委員長

ただいまより、厚生委員会を開会いたします。

本日は、お手元の審査・調査予定表のとおり、報告事項およびその他を予定しております。

なお、報告事項(2)品川区の新型コロナウイルス感染症にかかるワクチン接種状況について、追加資料の配付を求められましたので、これを了承し、皆様の机上に配付させていただきました。

本日も、これまでの委員会と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委員会室のレイアウトを変更、アクリル板を設置するとともに、理事者の出席も必要最小限とし、報告事項等は部ごとに取り上げ、予定表の順序の変更や会議途中での理事者の退席等も行ってまいりますので、ご了承ください。

前回は申し上げましたが、ただいまご案内しましたとおり、新型コロナウイルス感染対応の下での委員会であります。各委員におかれましては、会議時間が長時間とならないよう、重複を避ける、事項を絞り簡潔に行う、前置きを省くなど、簡潔かつ効率的な質疑にご留意いただきますようお願い申し上げます。

理事者の皆様におかれましても、委員会運営の効率化へのご協力を改めてよろしくお願いいたします。

2 その他

○鈴木（博）委員長

初めに、会議の運営上、予定表の順序を入れ替えまして、予定表2、その他を議題に供します。

その他で何かございますか。

○松山障害者福祉課長

私からは、品川区障害者週間・記念のつどいの実施について、例年と変わりますのでご案内いたします。

例年皆様にお集まりいただき、障害者週間・記念のつどいを12月に実施しておりましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事前に収録した動画を配信する予定でございます。

詳細につきましては、委員の皆様へ別途ご案内させていただきます。

○鈴木（博）委員長

説明が終わりました。

それでは、本件に関しましてご質疑等がございましたら、ご発言をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○鈴木（博）委員長

ご発言がないようですので、以上で本件を終了いたします。

そのほかにその他で何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○鈴木（博）委員長

ないようですので、一旦その他を終了いたします。

以上で福祉部が所管する議題が終了いたしましたので、障害者福祉課長はご退席いただいて結構です。ありがとうございました。

1 報告事項

(1) 新型コロナウイルス感染症に係る保健所・保健センターの対応について

○鈴木（博）委員長

次に、予定表1、報告事項を聴取いたします。

初めに、(1)新型コロナウイルス感染症に係る保健所・保健センターの対応についてを議題に供します。
本件につきまして、理事者よりご説明願います。

○鷹箸保健予防課長

それでは、お手元の資料をご覧ください。

毎回ご説明している新型コロナウイルス感染症に係る保健所・保健センターの対応についてでございます。変更があった箇所のみ、ご説明させていただくことといたします。

電話相談件数等ですが、一時期より本当に激減しているという状況になります。

患者対応件数につきましても、総数1万2,971人というところですが、ここ2週間ほどは全く報告がないという日もありますし、大体1人、2人、先頃4人という割と大きな数になりましたのはご家族と、そのような形で、本当に一時期とは発生状況が全く変わっているという形になります。

裏面をご覧ください。

まん延防止等の対応につきましても、前回と特段変わりはありません。

(4)品川区PCR検査センターでございますが、感染者の激減に伴いまして、現在検査の必要な方、要は濃厚接触者の方への検査等の必要性も減っておりまして、現状、10月15日以降、PCR検査センターを休止中でございます。

2. 保健センターの対応状況につきまして、これまでと変わりません。

3. その他でございます。新型インフルエンザ等対策連絡会の実施ということで、10月19日に区内の医療機関、そして医師会、薬剤師会の皆様方と、今回の第5波への対応を経て、次に第6波が来たときにどのように、一番は自宅療養者の方への対応なども含めまして、役割分担も含めて協議を行ったところでございます。

○鈴木（博）委員長

すみません。ちょっと声が小さくて聞こえないということなので、ゆっくりと大きな声で。

○松山障害者福祉課長

では、その他の説明からもう一度、(1)の新型インフルエンザ等対策連絡会のところから、もう一度ご説明させていただきます。

この会議でございますが、題名は「新型インフルエンザ等」となっておりますけれども、これは元から新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づいて、かねてより実施しているものでございますが、今回のテーマは、当然ながら新型コロナウイルスに限った内容で協議を行いました。ご参加いただいたのは、医師会、薬剤師会、そして区内の病院の先生方でございます。協議した内容といたしましては、今回の第5波を受けまして、次に第6波が来たときに、特に自宅療養者の方々への対応など、役割分担を含め、遺漏のないように対応していこうという旨の協議をしたものでございます。協議は継続中でございまして、具体的な役割分担、例えば自宅療養者の方に対して、保健所が全て対応するというのではなくて、信頼した先生にご対応いただいたり、あるいはオンライン診療の後、薬局の薬剤師が患者の自宅にお薬を届けていただいた後は、薬剤師のほうで健康観察をしていただくなど、効果的な役割分担について協議を行いました。

そして(2)区内新型コロナ診療・検査医療機関名の公表というところで、区のホームページへ公表して

もよいというふうにおっしゃっていただいた医療機関の、特にPCR検査を実施している医療機関、11月5日現在ということで78か所を公表させていただきました。このほか、検査は実施していないけれども診療を実施しているという医療機関もございますが、やはり区民の方が一番お知りになりたいのはPCR検査をされる医療機関だということで、区のホームページには検査可能な医療機関を載せてございます。同時に、東京都のホームページにもリンクを貼っておりまして、そちらには検査はできないけれども診療はできるという医療機関もございますし、あとは都のホームページには品川区の地図、どこに医療機関があるのかというマップも載せてありますので、ぜひそちらも参考にご覧いただければと存じます。この医療機関名の公表とともに、区のホームページがなかなか見づらいというご指摘などもいただいておりますので、見た目と、それから必要なページにすぐ飛べる形で作り直しをいたしましたので、ぜひ一度ご覧いただければと存じます。

○鈴木（博）委員長

説明が終わりました。

本件に関しまして、ご質疑等がございましたら、ご発言をお願いします。

○石田（ち）委員

今、3のその他のところでご説明いただいた、新型インフルエンザ等対策連絡会の実施で、区内医療機関等と第5波への対応について情報共有ということで、役割分担したなどと説明がありましたけれども、情報共有というのはどのようなものだったのか。それからあと、今落ち着いているところで、第5波がどのような感染状況だったのか、それで対処法はどうだったのか、何を教訓として今後活かすかなど、そういった総括的なことは行われるのか、行ったのかを伺いたいと思います。

○鷹箸保健予防課長

その辺りにつきましては、今後の所管事務調査の中で具体的に資料に準備してございますので、そこでご説明をしたいと考えております。今、委員のご指摘にありました、その反省を踏まえてという部分もございますし、やはり役割分担、東京都との役割分担、あるいは区内の医療機関、医師会、薬剤師会との役割分担などについて協議した内容になります。協議の結果、第6波へ向けての対応が全てその場で決まったわけでは決してございませんで、今現状、一番いいやり方はどうなのかということも踏まえて、協議が継続しているところになります。今後の所管事務調査の中で、当日先生方にご説明した、例えばクラスター発生の情報ですとか、一番大変だったときの職員体制ですとか、その辺もこのたび資料にまとめましたので、そこを含めてご説明させていただきたいというふうに考えております。

○鈴木（博）委員長

所管事務調査で詳しくご説明があるようなので、そのときにまた。

○石田（ち）委員

分かりました。

○鈴木（博）委員長

ほかに何かご質問はありますか。

○鈴木（ひ）副委員長

保健所の保健師や事務の方々、私も（決算特別委員会の）総括質疑でも取り上げさせていただいたのですけれども、本当に長期間にわたって長時間勤務だったりなど、大変な思いをされてきたと思うのですが、現状の勤務状況、残業の状況や職員体制が今どうなっているのかということについて伺いたいと思います。

それからあと、これから所管事務調査でいろいろと詳しくは教えていただけたらと思うのですが、新型インフルエンザ等対策連絡会というものは何名くらいでされていて、これまで何回ぐらいされてきたのかという辺りだけ、ちょっと教えていただけたらと思います。

○鷹箸保健予防課長

まず、職員の現状でございますが、先ほどお話ししたように、現在全く発生届が出ないこともある状況ですので、職員はほぼ残業はなく帰ることができております。ただ、これまでどおり土日も含めて、いざ患者のお届けがあったときには確実に対応できるようにということで、交代勤務を含めまして、土日・祝日も必ず職員が出る体制は続けております。

そして、新型インフルエンザ等対策連絡会ですが、かなり以前からで、そこを踏まえて今後ご説明しますが、基本は年1回、これまで開いております。それから、参加されているメンバーにつきましては、組織としては、先ほどお話ししたように医師会、薬剤師会と区内17の病院なのでございますけれども、今回ウェブでの開催にいたしましたので、1つの医療機関から、病院から1人のところもありますし、例えば院長先生、副院長先生、事務部門と、たくさん参加していただいたところもありますので、その関係で人数の増減はございます。そういった形の会議体でございます。

あと、すみません、ご質問ではないのですが、先ほどちょっと説明の漏れがございまして、先週だったと思いますけれども、東京都のほうでこの4月から9月の間に大幅な人数の報告漏れがあって、情報の修正をしたと、そういったニュースがございましたけれども、それに対しての品川区の対応でございますが、あれは東京都が報告している数でございまして、これまで品川区が報告している、品川区保健所が対応している数については一切変更ございませんので、その旨併せてご説明させていただきます。

○鈴木（ひ）副委員長

本当に今残業なしということで、ここまで下がったということは今まであまりなかったと思うのです。それで、もう本当に長い間お疲れさまでした。今、本当に残業もないということで、私たちとしても少しほっとする思いなのでございますけれども、第6波が来なければいいなという思いですが、本当にお疲れさまでした。

あとまた新型インフルエンザ等対策連絡会というものが、これまでというようなことでは年1回だったと思うのですが、コロナでどうだったのかということは、今後の所管事務調査で教えていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

○鈴木（博）委員長

ほかに何かご質問はございますか。

○若林委員

では確認だけ、端的にさせていただきます。

裏面の1の(4)、この最後、一番下段の「必要に応じクラスター発生施設等への出張検査も実施している」というところの概略をお聞きしたい。実施したということですので、具体的に。

あとは、この(3)のまん延防止対応の①の「9月20日以降、対象を元に戻し調査を実施」と、このようなところの時期的なところ、タイミング、このような出張検査実施の判断の部分について、2つお願いいたします。

○鷹箸保健予防課長

まず(3)の①、「対象を元に戻し」というところですが、一時期感染者の方が大変増えてしまって、個別の検査、調査ができなかった、やめていた時期につきましては9月1日から20日、この限られた期

間になりまして、9月21日以降は検査対象を戻しておりますけれども、その頃には発生届自体がかなり激減しておりまして、それほど多くの対象に調査をしなくてはならないという状況もほぼ同時に解消されていたということになります。

そして、(4)「必要に応じクラスター発生施設等へ」というものは、これ、すみません、今年の5月から全部を合わせてですので、その中で必要な場合に、具体的には高齢者福祉施設になりますけれども、高齢者福祉施設のほうに医師会の先生方に出張の検査をしていただいたということで、今年からお願いをしているのですが、今年の第2波の頃から必要ときに先生方をお願いをしていたという形になります。「している」というのは、例えば昨日や一昨日など最近という意味ではなくて、PCR検査センターが始まってからこれまでの期間にお願いをしていると、そのような形の表現になります。

○鈴木（博）委員長

ほかに何かご質問はありますか。

○石田（秀）委員

1点だけ教えてください。

ここで聞いて合っているのかどうか分からないのですが、ワクチンを打たない方の対応で、私の知っているサービス業の方は、接客業なので必ず打ってくれという対応をしているのだけれども、打たない方がいらっしやるでしょう。基本的には希望者なので、そこまで強く言えるか言えないか、海外のように、それはもう解雇というようなことが、日本の場合はそのようにできるわけでもないと思うので、希望者だということではないですか。だけれども、会社によっては、そこはもうしょうがないので、PCR検査を必ずやると。それで陰性だということを何度も。ワクチンを打っていないので、陰性証明を持って仕事についてもらうとか、接客しないところに配置替えをしたとか、そこは配置替えもできたからそのようにしているのだけれども、そのようなことの相談というものは、逆にこのような対応で辞めてくれというようなことを言われたとか、そのような相談というものは、保健所等にはあるものなのですか。ないものなのですか。

○豊嶋新型コロナウイルス予防接種担当課長

現時点でワクチン担当のほうには、そういったご相談は入っておりません。

○鷹箸保健予防課長

感染症予防のほうの担当にも、ワクチンを打っていないと、その影響でといったようなご相談は特段ありません。

あと検査ですが、不必要な検査というものは一方でやめていただかなくてはならないので、例えば、一度感染をして復帰をするときに、陰性でないと復帰をしてもらったら困るので検査をすると、まだ一月ぐらい、体は何ともなくても、PCR検査自体は生きているウイルスを調べる検査ではございませんので、しばらく出るので、そういったご相談はございますけれども、ワクチン関連のそういった相談は、私どもはまだ受けたことはございません。

○鈴木（博）委員長

ほかに何かご質問は。

○高橋（し）委員

すみません、2つ。

1つは今、石田秀男委員からもご質問があったのですが、この窓口になるのか分からないのですが、いわゆるコロナに関していわれなき差別と申しますか、コロナで悩んでいるのですけれどもと

というような相談は、この窓口のほうなどで来ているのかどうかということが1つです。

それからもう一つは、(資料の)表側の(2)の患者対応というところの部分が、今はもうほとんどないということという確認でよろしいでしょうか。ホームページだと自宅療養者が10月は4人で、入院患者が10人とあるのですけれども、もう11月ですので、このような方がいない状態だと、保健所のほうではこういった対応をしないで済んでいるという認識でよろしいのでしょうか。

○鷹箸保健予防課長

コロナの罹患に伴う、あるいはコロナという病気に関して、直接的な差別についての相談というものは、保健所に、私のほうまで来る形でそういった相談があったことはありません。ただ、繰り返になりますが、やはり陰性証明がないと会社に復帰させない、そういった検査をさせてくれるところはどこかといった相談や、会社に言われたので罹患後の検査で再度陽性になった方は、そのような患者は大体同じ医療機関では検査しないわけです。2回目は別の、診断されたのとは別の医療機関で陽性が出ると、その先生は1回目に陽性になったことをご存じないので、また我々のほうに届出が来ます。そうすると、我々は住所と名前で、この方が同じ方だということが分かると、2回目に届け出た先生に、実はこの方は一度療養が終わっているのだというお話をし、その先生に取下げのお願いをする形になるのですけれども、そのやり取りの中で患者との調整ですとか、そういったことのご相談ですとか、具体的な対応はさせていただいているとともに、会社名を教えていただけた場合には、そういった検査を求めてはいけないうのですよということを会社に言ってくれという方が実際にいらっしゃいますので、その場合の対応はさせていただいております。

あと表面の(2)でございますが、ご指摘のとおり、ここにあります①から④までのうち、ほとんど患者がいらっしゃらなくなっても、必要なものが④でございます、自宅療養終了証明書というものは、ほかの区の保健所では実はあまり発行していないということで、品川区独自に全員に発行していたものなのですけれども、これは療養が全て終われば自動的に発行しているのですが、かなり以前の、例えば昨日もなのですけれども、今年の2月に発生したのだけれどもという方が、保険金が出るということに気づいてもう一度書いてくださいと。そういった後追いの対応を頼まれることはありますが、それ以外については入院されている方の療養のお支払いなど、そういったものに今は限っている形になりますので、業務量についても激減したということが言えると思います。

○鈴木(博)委員長

ほかに何かご質問はございますか。

ほかにご発言がないようですので、以上で本件を終了いたします。

(2) 品川区の新型コロナウイルス感染症にかかるワクチン接種状況について

○鈴木(博)委員長

次に、(2)品川区の新型コロナウイルス感染症にかかるワクチン接種状況についてを議題に供します。

本件につきまして、理事者よりご説明願います。

○豊嶋新型コロナウイルス予防接種担当課長

私から、品川区のワクチン接種状況についてご報告させていただきます。いつもの資料、A4判で両面印刷だったものが、今回からA3判となりました。お手元に2枚と、それから追加資料が1枚あるかと思っておりますけれども、ご準備いただければと思います。

まずは接種状況についてでございます。特段大きな変更点があるところからご説明させていただきます。

す。

左側、集団接種会場の表です。今日11月8日時点では、ほぼ接種会場が閉じるような状態になっております。現在稼働しているのが②の旧荏原第四中学校、それから⑨大井競馬場、そして⑰日精ビルディング。こちらが区の集団接種会場として運営しているところで、あとは一部個別のクリニックで、今現在接種をしていただいている、そういった状況でございます。

この表に書かれていないところで申しますと、世田谷区の楽天グループの会場と、それから大田区で2か所、在勤在学者を打ってくださるといふことと、あと港区スポーツセンターで合同で現在接種を行っておりまして、2回目のタームに入っておりますので、区の集団接種会場という扱いではございませんが、そちらでも打てますという状態で、現在接種が進んでいるところでございます。

右側に移らせていただきます。

8の接種状況でございます。この資料に記載の時点からおおよそ2週間ほど経ちましたので、本日追加で机上配付をさせていただきました、新しいA4判の接種状況の資料をご確認ください。表を大きくしました。中身は同じでございます。現在の最新の接種率、合計が、1回目接種が終わった方が82.7%、高齢者に至っては1回目92.2%というものが、昨日時点のVRSに登録されている品川区在住の方の数字でございます。約2週間でここまで数字が移っているということをご確認いただければと思います。

9の区民への周知でございます。10月26日の部分です。港区との合同接種、こちらは港区スポーツセンターでやっているものでございますが、10月28日、それから11月4日につきましては、初めて両区合意の上、予約なしの接種という枠もつくらせていただいて、接種を行いました。10月28日、予約枠を30名分つくりまして、品川区民の方は10名いらっしゃいました。11月4日につきましては、同じく30名、予約なしの枠をつくりましたところ、品川区民の方18名にお越しいただくことができました。

それからあと、変わりましたところは14です。3回目の追加接種については、別紙がございますので、そちらのほうでご説明させていただきますが、3回目の接種の説明に移る前に、先日10月30日に解凍後の期限が切れたワクチンを204名の方に誤接種をしてしまいました。大変申し訳ございませんでした。そちらについて簡単にご説明させていただきます。

10月30日の土曜日、集団接種会場、この表でいいますところの⑮-2、旧荏原第一地域センター、現在武蔵小山図書取次施設と呼ばれるところで接種が行われておりましたけれども、解凍後の期限が切れたワクチン、30日間の期限のところ、35日間経っていたワクチンを接種してしまったということが発覚いたしました。急ぎ対象者の方全てに通知をお出しいたしまして、こちらの対象者の方、希望がある方に抗体検査を受けていただけるよう、現在準備を進めているところでございます。このたびは大変申し訳ございませんでした。こちらの件に関しましては、プレス発表等でもさせていただいたところでございます。

別紙の、もう1枚のほうの3回目の接種についてご説明させていただきます。9月22日に厚生労働省から3回目の接種についての説明会がありまして、実際に現在準備を進めているところでございます。

1の方針でございます。3回目の追加接種につきましては、同じく集団接種会場、区内の医療機関等々、あと個別接種会場等々で接種を進めていくというところでございます。

対象者につきましては、2回目接種完了後、概ね8ヶ月以上経過した者ということが、厚生労働省より示されております。つい先だって、こちらの2の米印の最後に書いてあるところでございますが、2

回目接種を終えたすべての人を対象とする方針という報道がなされました。ただ、正式には今後決まって、通知が下りてくるといところでございますので、現在我々は正式な通知待ちといところでございます。ただ、2回目接種を終えたすべての方が対象であるという方針で、現在準備を進めているところでございます。

3、接種開始時期でございますが、医療従事者は12月1日から打てるようにということが国から示されております。実際に区民の方のお話になりますが、これ8ヶ月を経過した者という縛りがございまずので、それで計算いたしますと、一番早いのが、品川区の場合、高齢者施設から接種を始めておりますので、2回目を打ち終わった方の8ヶ月後に当たるのが1月の下旬でございます。ですので、こちらは高齢者施設から接種ができるように、現在調整を進めておりますが、いかんせん施設の入所者、入れ替わりもありますので、実際に1月下旬から打てるかどうかは、今後の調整によって決まっていくところでございます。5月24日から区の集団接種会場が始まりまして、予約を取って打っていただく方が発生いたしました。そちらの方の2回目が打ち終わったのが6月の半ばでございますので、その8ヶ月後に当たるのが2月の中旬となります。よって、2月の中旬以降、高齢者からどこかしの会場で接種をしていただけるように、現在準備を進めているところでございます。

4、会場もあくまで予定でございます。今後当然追加、それから変更等々ありますが、表のとおり、現在集団接種会場として予定をしているところで、米印にあるとおり、その他の医療機関等も現在調整を進めているところでございます。個別接種会場、クリニック、診療所につきましては、もう医師会との調整というか、調査のほうはお願いをしております、資料に記載のとおり、細かい数字まではまだこれからのことなので、未定な部分もございまずですが、大体150前後の数になるのではなかろうかということで、現在報告が上がっております。

予約については、同じようにコールセンターと、それからWebで予約をすることになりますが、Webにつきましてはシステムを変更いたしまして、より予約を取りやすいように、現在業者も含めて調整を進めているところでございます。

6のスケジュールになります。項目は現時点で分かるものを出させていただきました。計画の公表というのが本日のこの場ということでございます。11月の中旬ということでございますが、直近のお話をさせていただくと、とにかくまず接種券をお手元に発送しなくてはならないということでございます。医療従事者の方には11月22日を目途にお手元に届くように発送しなさいという国からの指示がございまずので、品川区としましては、11月18日にひとまず先行して打つ可能性がある方、医療従事者に対して11月18日発送予定ということで、現在準備を進めております。その他の方につきましては、②の1月下旬以降、順次発送していくような形で現在準備を進めていっているところでございます。それで、その他の項目を見ますと、医療従事者の接種につきましては12月から打てるように、高齢者施設の入所者に関しましては、1月の下旬以降、準備・調整の下、打てるように、対象区民の予約開始日は2月中旬の接種に間に合うように、2月の中旬辺りから予約が開始できるような形で、今現在準備を進めているところでございます。その他会場の設置云々については、種々調整を進めているところでございます。

最後、7、課題としまして、転入者に対しての接種券の発行を、私たちのほうで1件1件していかななくてはなりません。そのための申請も、申請をいただかないと発券ができないところから、申請業務をお互い、区民の方も手軽に、気軽にできるようにということで、電子申請であったり、オンライン申請ができるような形で、現在システムの構築を進めているところでございます。

○鈴木（博）委員長

説明が終わりました。

本件に関しまして、ご質疑等がございましたら、ご発言をお願いします。

○石田（ち）委員

このワクチンが、やはり若い世代の方の接種率がまだまだ、10代の方は7割にもっていない、6割台で、20代も7割、6割というところでは、まだ受けたと思っている方はいらっしゃるのではないかと思いますので、そのような人への対応というのですか、ホームページのほうでは、「区内の集団接種会場の新規予約は、現在受け付けている枠をもって終了します」ということで、集団接種会場は順次閉鎖し、希望者は一部の医療機関で接種ができる体制を確保するというようになっているのですが、結構、予約を取ろうと思っても、もう終了してしまったということで、受けたという方は若い世代で今多いのではないかと思いますので、そのような方々へのワクチンの確保と接種会場というものは、十分にあるというか、対応されていくのかを伺いたいのですが。

○豊嶋新型コロナウイルス予防接種担当課長

今後受けた方の会場についてのご質問でございます。まずは12歳の誕生日を迎えた方につきましては、引き続き誕生日を迎える前月末に接種券を発送いたしますので、やはりどこかしの会場で受ける状態にしておかなければいけないということは、我々のほうでも認識をしております。現状、本日時点で申しますと、11月15日、16日、24日、この3日間につきましては、大井競馬場のほうでファイザーワクチンの予約枠が、今、数百空いている状態でございます。これ以降、先ほどの会場の星印の病院を中心に、誕生日に12歳を迎える子であったり、その他これから打ちたいという方の枠を逐一といいますか、設ける形で調整を進めております。ちなみに12歳を迎える方といいますのが、大体品川区内では1学年の年齢というのが大体毎年3,000人程度おまして、12歳を迎える方も、月割りしますと毎月大体300人程度、300人いかないぐらいというので、毎月それプラスアルファで打ちたい方もいらっしゃるということから、大体300にプラスアルファをした形の枠は今後もつくり続けて、枠が全て予約ができない状態にならないように、こちらのほうで現在病院とも調整を進めているところでございます。近日中に12月の枠も開けることができるかというふうに考えておりますので、そちらのほうで、随時ホームページ等々にはなってしまいますけれども、ご確認いただいて、ご予約、もしくはコールセンターのほうでご予約をお取りいただければというふうに考えております。

○石田（ち）委員

分かりました。

それでワクチンのほうが、今ホームページを見ると、11月のところの入荷状況が、アストラゼネカの100人分というものだけになっているのですけれども、これはこういった少しずつな形で今後も入ってくるということなんでしょうか。

○豊嶋新型コロナウイルス予防接種担当課長

足りない分、それから期限が切れてしまって使えなくなる分を見越しまして、2回目接種の方の日付を見越しまして、アストラゼネカに限らず、モデルナワクチンにつきましても、打てるような数は確保できるように、こちらのほうで計算を進めております。現時点ではファイザー製、モデルナ製、それからアストラゼネカ製、皆さんが打てる分のワクチンは確保できているというふうには、こちらのほうでは準備を進めているところでございます。

○鈴木（博）委員長

ほかに何かご質問はありますか。

○鈴木（ひ）副委員長

ちょっと地域の高齢者の方からご相談を受けたのですが、ずっとかかりつけ医でやりたいと思って、集団接種会場の予約はずっと取らないできた方が、かかりつけ医のほうでもできないというようなことになって、90歳近い方なのですが、まだワクチンができていないのですけれども、でもやはりワクチンはぜひやりたいという思いなのです。それで、何かそのような方も、今度の12月の枠のところではできるということなのでしょうか。それで、今までもそのような枠というものをつくられていたのか、ちょっとその点について伺いたいと思います。

○豊嶋新型コロナウイルス予防接種担当課長

予約を取る件につきまして、確かに一部若年層の方の優先枠であったりとか、もちろんもう少し前になると基礎疾患の方の優先枠であるとか、優先してお取りできますよというものをコールセンター等々でつくったことは確かにございます。開始当初は年齢別に接種が進んでいたこともありまして、該当年齢にならないと予約が取れない状態もございましたが、夏休み、8月以降、皆様の予約が開始されて以降は、空いている予約枠に色がついておりませんで、どなたでもご予約をお取りいただけますので、現在空いている枠も、特にどなたしか接種の予約をすることができないというものではございません。ただ、現時点で空いているのが大井競馬場の枠しか、本日時点では空いておりませんが、先ほどご説明もいたしましたけれども、12月以降、星印がついている病院につきましてはまた予約枠を空けますので、こちらのほうのご予約をお取りいただくことで接種はできるかと思えますし、個別クリニックも一部、現在本当に少しではありますけれども、まだ接種にご協力いただけている診療所もございますので、かかりつけ医ではなくてもご相談いただくことはできるかとは思っています。その点、ホームページにも少しまだ載っている状態ですので、お問合せいただければというふうには考えております。

○鈴木（ひ）副委員長

では、今私が相談を受けている方のことに関していえば、大井競馬場であれば今からでも予約が可能ということなのですね。

そのところを、私はホームページを見たときに、旧荏原第四中学校のところや、旗の台病院だったか、そのようなところでもできるような感じに自分としては思ったので、ご紹介したのですが、そうしたらワクチンがもう供給不足で受付は終了しましたので打てませんというのがワクチン接種コールセンターの回答で、ああ、もう打てない、結局打てないのだというようなことを、その方は思われてしまったのです。それなので、これを見ると高齢者の92.2%が1回目が終わっているのです、この1回目が終わっている人までは確保されているので、ここのところまではできると思うのですが、それにしても数千人、5,000人や6,000人の方は、多分ワクチンを打っていない方がいらっしゃると思うのです。若い方だともっとすごくたくさんの方がまだワクチンを打たれていないと思うのですが、打たれていない方で打ちたいと思っている人というのは、かなりたくさんいらっしゃると思うのです。そのような方がどのようにアクセスして打てるようになるのかということが、なかなかホームページで分かりにくいのです。

それと、あとはコールセンターに電話が行ったときに、そのコールセンターで、そのところではやっていないけれども、ではここだったらできますよとか。この方は車で行って車で帰ってきたいということで、駐車場付きのところを探しているということなのなのですが、大井競馬場だったら駐車場付きですよ。だから駐車場付きの大井競馬場だったらできますよという形での、コールセンターでの

案内までぜひしていただきたいと思うのです。

また、このパーセンテージからすると、受けていないけれども受けたと思う方に対して、受けられるような案内や体制というものがまだまだ必要だと思うのですけれども、その点についての考えをお聞かせください。

○豊嶋新型コロナウイルス予防接種担当課長

まずコールセンターについては、対応をいま一度確認はさせていただきます。副委員長ご指摘のような対応が取れるようにということで、こちらのほうQ&A等々もつくってございまして、委託しておりますので、その辺りについて再度確認はさせていただきたいと思っております。

繰り返しになりますが、予約につきましては現時点では色がございまして、若い人につきましては、確にお仕事されている方も多いたるところもありまして、品川区にとどまらず、世田谷区の楽天クリムゾンハウス、大田区の京急蒲田駅の目の前のP i Oという産業プラザ、あとそれから下丸子にありますキヤノンの体育館、あとは港区、田町駅前にあります港区スポーツセンターということで、区を越えて夜の時間も含めて接種をしていただけるような形で準備を進めてございまして、その点、もちろんホームページも含め、あとSNSですね、登録されている方にはなってしまっていますが、SNS等でも情報の提供はさせていただいているところではありました。少しでも予約を取れなくても打てるようにということで、予約なしの枠も先週、先々週とつくって、シフトしていたというところがございます。

今後打ちたいという方につきましてはですけども、ワクチンについては、現時点ではファイザー製も含めて、今手元に十分なワクチンがございます。ワクチンも使用期限が6ヶ月から9ヶ月に延びましたので、今手元にあるワクチンで十分に数千の枠をつくることはもちろんできるのですけれども、現時点で大井競馬場は、直近の15日、16日、24日の3日間開けていますが、時間帯、それから曜日という問題もあるのかもしれませんが、数百今残っている状態ですので、やたらめったら会場を開けてしまってもということも、いろいろな効率の面から考えてもございまして。その辺りは病院も含め、時間帯も含め、今後調整を進めてまいりますので、もし今すぐということでないのであれば、12月、また病院等々も枠をつくって、時間帯も含め、金曜日や土曜日などの夜間の時間帯も含めて今調節を進めているところですので、打てる時間帯を見つけていただいて、何とか接種していただければというふうに考えております。

車につきましては、大井競馬場のほうで無料で使える駐車場を確保しておりますので、ぜひそちらのほうをご利用いただければと思います。

予約については、Webでもコールセンターでも予約を取ることは可能です。

○鈴木（ひ）副委員長

そうしますと、区内でまだ受けていないけれども受けたという方のためのワクチンというものは、今何人分くらいは確保されていると考えたらいいのでしょうか。

○豊嶋新型コロナウイルス予防接種担当課長

何人分というのがちょっと、今すぐ計算はできませんが、数千人分は間違いなくございます。3,000人、4,000人、5,000人分くらいはあるというようにご理解いただいて結構だと思います。

○鈴木（ひ）副委員長

分かりました。

○鈴木（博）委員長

ほかに何かご質問はありますか。

○石田（秀）委員

これは3回目で、これはもうお願いになってしまうのかもしれないのだけれども、何しろ1月下旬に接種券は配ってしまうわけですね。そうすれば、またすぐ予約の電話が来たり、問合せが来てしまうから、またパンクするとか、かかりづらいとか、そのようなことが起きて、我々のところにもどうなっているのだというような話があるのではないかと大分心配しているので、接種券は全部一遍に行ってしまうのか、どうするのか。あとは、例えば予約は1ヶ月前ぐらいから受けるのかどうか分からないけれども、1ヶ月前とするのか。例えば、2ヶ月前先でも予約を取れるのではないかなどという問合せのようなものもたくさん来てしまうと思うのです。だから、その辺のところはこれから検討するのかもしれないのだけれども、ぜひそれは混乱のないように検討していただきたいと思うので、それだけ、お願いだけしておきます。答弁は要りません。

○鈴木（博）委員長

ほかに何かご質問はありますか。

○高橋（し）委員

まず資料がA3になってとても見やすいので、ありがとうございます。

ちょっと国の動きなどが分からないのでお伺いしたいのですが、前回は大規模接種が急に決まって、それは打てる方が多くなったからいいのですが、例の発送です。接種券の発送もそれに応じてかなり混乱して、急いでやっていただいたということがあるのですが、その辺の可能性についてはいかがかということが1点です。

それからもう一つは、大規模接種会場は、ちょっと国のことなのでお答えいただけるのかどうかあれですが、仮にやらないとすると、いわゆる3万人分ぐらいは品川区の方が受けているわけで、職域接種はたしかこれ、ホームページで7万人ぐらい、すると10万人は区外といったらおかしいですけども、やっていたわけですね。それがどこまで減るか。そうすると、先ほど石田秀男委員もおっしゃっていましたが、予約の点で今回のものよりもかなり、また厳しい状況になるのかもしれないですが、その辺についての現状での見込みというか、検討状況を教えていただければと思います。

○豊嶋新型コロナウイルス予防接種担当課長

2点お答えいたします。

まず大規模接種会場については、9月22日の国の説明会時点では、東京都、それから国は大規模接種会場は作りませんというような説明でした。ただ、先週東京都とのウェブ会議、東京都の部課長が出られている会議等々では、東京都も大規模接種会場をつくる検討を始めたという話になりました。ただ、検討を始めたというところで、一体何人分とか、いつからだという質問をしても、それは一切お答えができませんという回答だったので、現時点ではちょっと分からないのですが、少なくとも都は何かしら受皿を、幾ばくかはつくる予定があるようですけども、国からそういった話は現時点では全くまだ何もありません。委員ご指摘のように、職域接種もやらないというように国は言ってはいましたが、今後ちょっとその辺どうなのか、分かりません。現時点で品川区ですが、そういった職域接種された方なども含めて、全部品川区内で受けられるような枠数は設けようというようには考えております。

ただ、そこでやはり予約の話になってくるのですが、一応今回は2回目を打ち終わってから、現時点では概ね8ヶ月以上経過した者という縛りがありますので、先ほど石田秀男委員もお話しされていましたように、例えば自分の接種日の何日前とか、何ヶ月前からしか予約ができませんとかというよ

うに分散する形であったりとか、接種券（の発送）も少しずつずらすであるとか、いろいろな方法を今検討しながら、コールセンターに同じ日、同じ時間帯になるべく集中しないように、皆さんがストレスが少しでもかからないような予約ができるような体制づくりを今現在検討して、他区とも情報交換しながら進めているところでございます。

○高橋（し）委員

いろいろありがとうございました。検討を進めて、他区の例なども参考にしながらということですので、ぜひ混乱のないようによろしくお願いいたします。

○鈴木（博）委員長

ほかに何かご発言はございますか。

○せお委員

すみません、1点だけ。

3回目接種のところなのですけれども、医療従事者に関しては、1回目、2回目は東京都が接種券など、対象者とか、そういったところをやっていたと思うのですが、その辺は、今度区がやるということで理解していいのかということと、その辺は、その対象者などに関しては、VRSなどで把握できるという、それもそのような理解でよろしいのかということと、医療従事者に関しては結構自分の医療機関で受けたりすると思うのですけれども、そういった場所などはどのようになるのか、接種会場はどういった形になるのか、教えていただきたいです。

○豊嶋新型コロナウイルス予防接種担当課長

順にご説明させていただきます。

先ほどは東京都が、先週の会議で大規模接種会場を検討しているというようにお伝えいたしました。一応資料がそのとき出ておまして、これまだ検討している内容ですので、変更ももしかしたらあるかもしれませんが、東京都によると、例えば非会員の医療従事者には都の大規模接種会場をつくりますというような資料も、今は出ております。ただ、その細かいところについては、先ほどのお話のとおり、まだ未定というところでございます。区内の会員、医師会員などといった辺りは、今医師会と調整をして、例えば医師会館で打てるとか、それからご自身で打てる診療所はご自身で打っていただくであるとか、あとは、今、区の集団接種会場として機能している幾つかの病院のほうでも、多少医療従事者を打っていただけるように、現在交渉というか、調整をまさに今進めているところでございますので、どちらかの会場で打てるような形で、なるべく早くお示しできればというふうには考えております。

VRSで拾えるかということでございますけれども、一応医療従事者だけを拾うということがなかなか、できないことはないのかもしれませんが、かなり時間がかかってしまいますので、今回11月18日に発送する分については、医療従事者だけということではなくて、大体医療従事者が打ち終わっているであろう、2回目の接種が5月31日までに終わっている方を抽出して、その方々に11月18日に発送するという形で考えております。例えば5月に打ち終わった方であれば、8ヶ月後が1月になりますので、仮に11月にお手元に届いても、接種は1月になりますので、ひとまずそこで1回区切って、6月1日以降に打ち終わった方で1月の下旬以降、順次どのように発送していくかという検討は再度進めていきますが、一応分割して進めていければというふうには考えております。

○せお委員

ありがとうございます。

○鈴木（博）委員長

ほかに何かご発言はございますか。

ほかにご発言がないようですので、以上で本件および報告事項を終了いたします。

2 その他

○鈴木（博）委員長

次に、再び予定表2のその他を議題に供します。

その他で何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○鈴木（博）委員長

特にないようですので、以上でその他を終了いたします。

以上で、本日の予定は全て終了いたしました。

これもちまして、厚生委員会を閉会いたします。

○午後1時52分閉会